

ピアホームだより

2013. 7. 10

障害者の家探しは楽し？

○山さんが3年のグループホーム生活を終え、卒業になりました。いつものように、物件取扱の多い「エイブル」志村坂上店で部屋探しを開始。このお店は障害者への対応も悪くありません。○山さんの希望を話し、紹介された物件の中に驚くほどの良い物件があって2人共大喜び、行政で書類を整え、1週間後には契約の運びになりました。ところが契約当日に電話が入り、提携の保証人協会の承諾が得られず契約不成立になってしまいました。家族がない、あるいは崩壊していて保証人が立てられない。しかも本人が精神障害の場合、社会的な承認が得られない—と云うことだと思えます。保証人協会とも面と向かってお話しできれば、この事態も打開できる？と思うところもあります。残念！

取りあえず、赤塚福祉事務所に連絡して相

談の結果、障害者の家探しを支援するNPO法人東京オレンジと契約の運びとなりました。また、保証人にはホームレス支援等で知られた「もやい」を利用することになりました。(続く)

ピアホームⅠ退去にあたって

○田さん(7月卒業退居)

3年4か月前、不安を抱えながらピアホームに入居しました。片川保健師さんの勧めで心が動き、親離れの始まりになりました。それまでも、彼女と2人で都営住宅の応募を繰り返していたのですが、中々当たりませんでした。これは、GHに入ってからも続けました。

世話人の千田さんとは、政治・哲学・宗教・社会・宇宙・産業・福祉・科学・国際情勢と幅広く語り合いました。一番心に残っているのは、信条は自由で経済は社民という考えでした。そして、区別する政治よりも混ぜる政治の方が良いとの2人の共通認識が良かったと思っています。力強い援軍を得たような気がしました。

彼女とは15年向き合って、都営も15回

応募して、ようやくこの6月に部屋が斡旋されました。入籍も無事終え、引越しを控えて、不安な、しかし楽しみもある6・7月を過しています。

皆さん、本当にお世話になりました。

○山さん(7月卒業退居)

お陰さまで、ここピアホームⅠに住んで満3年が過ぎて卒業となり、引越しの準備になっています。この3年間グループホームに居て様々な経験を積みました。

まず、感謝したいのはここを見つけてくれた私の妹です。ただ、正直、人間関係が苦手な慣れるのが難しく苦労しました。私にとってグループホームは居心地が良く、周りの助けも得て目標としていたJHC大山への通所も決まり、生活リズムも整いました。

これから先、新しい生活が始まっても慌てず、一日一日をしっかりと歩んで行きたいと思っています。

7月の動き

<7月4日> ○野さんピアⅡ新規入居

<7月9日> 非常勤秋月さん入院

<7月24日～> 非常勤山縣さん出勤開始